

とぎつちょう うちどく すいしん  
時津町は「家読」を推進しています

# たまには テレビをけして

ていがくねん 2022年 夏号  
(低学年)



発行：とぎつちょうりつとぎつとしよかん

## うちどく 家読とは

かぞく みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが「うちどく (家読)」です。難しいルールは要りません。

かぞく みんなでルールを決めてはじめてみましょう。

かぞく 同じ本を読みあったり、おとうさんやおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい時間を過ごしましょう。



Illustrator ATSUKO



## ちきゅう もり 『地球の森のハートさがし』

藤原 幸一/写真・文  
(ポプラ社)

ちきゅう 地球のいろんな森で見つけた「ハート」がいっぱいでくるよ。はっぱや虫、どうぶつからだの体にもカラフルなハートみつけた！なかにはふとったハートや、とがったハートもあるね。

しゃしんを見るだけでも楽しくなる絵本です。



## 『だいかぞく』

南 知里/作  
(アルファポリス)

わたしの家は「だいかぞく」。ひいひいひいひいおばあちゃんもいっしょにすんでいるのよ。かぞくみんなとってもなかよしなの。

もしこんなだいかぞくだったら、おきてからねるまでずっとにぎやかだろうなあ♪



## 『ほんとのママはゴールドマリー』

板橋 雅弘/作 平田 景/絵 (岩崎書店)

アイは2年生の女の子。ママとちがってやせっぽちではずかしがりや。アイにはあこがれの人がいる。それは自分と顔がにているかっこいいゴールドマリー。

なつやす 夏休み、アイは自信をつけるため、ママは長い生きをするため、二人で身体をきたえはじめた。さて二人は、ゴールドマリーのようにかっこよくなれるのかな？



## 『へそまがりねこマックス』

ソフィー・ブラッコール/作 石津 ちひろ/訳  
(光村教育図書)

ほこ 保護ねこシェルターからやってきたマックスは「へそまがり」。どんなにわらわせようとしても、ちっともわらわない。おまけにいたずらばかり。ねこのせわも、音読もちゃんとやるというやくそくだったのに、ぼくが何にもやらないことに、はらをたてた両親は、マックスをシェルターに返すと言い出した。そこで、ぼくがあわてて音読をはじめると…。



## 『えんどうまめばあさんとそらまめじいさんの いそがしい毎日』

松岡 享子/原案・文 降矢 なな/文・絵  
(福音館書店)

はたらきもののおじいさんとおばあさん。きがつかとなんでもすぐにやらないと気がすみません。ある日、うさぎにえさをあげようとすると、小屋のあみがやぶれているのに気がついたおばあさん。そこでおじいさんにしゅうりをおねがいすると…。

つぎつぎと「やりたいこと」が出てきて、ふたりは毎日おおいそがし。



## 『海とそらがであうばしょ』

テリー・ファン/作 エリック・ファン/作  
増子 久美/訳 (化学同人)

フィンは、会えなくなってしまったおじいさんから「海とそらがであうばしょ」があることを聞いていました。

ある日、自分の船でうたたねしているといつのか船は海の上。たびがはじまっていたのです。おじいさんが教えてくれたふしぎなばしょは本当にあるのでしょうか。